

ツシマヤマネコとは！？

【学名】*Prionailurus bengalensis euptilurus*

【英名】Tsushima leopard cat

ツシマヤマネコは、日本では対馬だけに生息する野生のネコです。約 10 万年前に当時陸続きだった大陸から渡ってきたと考えられ、ベンガルヤマネコの亜種とされており、極東アジアに生息するアムールヤマネコとは非常に近縁な関係にあります。1971 年に国の天然記念物に指定されています。しかし、生息環境の悪化や交通事故などで生息数が減少し、絶滅のおそれのある野生動植物として、1994 年に種の保存法に基づき国内希少野生動植物種に指定されました。将来、自然状態で安定的に生息できるよう、保護事業が実施されています。

ツシマヤマネコとイエネコの違い

体の模様は？



ツシマヤマネコ

体にぼんやりとした斑点！

イエネコ



頭部は？



ツシマヤマネコ

額から頭の後ろまで続く縞模様と小さく丸い耳！

イエネコ



耳の後ろは？



ツシマヤマネコ

耳の後ろの「虎耳状斑」という白い模様！

イエネコ



交通アクセス



●航空機●	●フェリー●	●ジェットオイル●
福岡⇄対馬 約 30 分 長崎⇄対馬 約 35 分	博多⇄厳原 約 280 分 博多⇄比田勝 約 350 分	博多⇄厳原 約 135 分
対馬の空港・港から対馬野生生物保護センターまでの距離・所要時間		
対馬空港から 6.6km 車で約 90 分		
厳原港から 7.7km 車で約 120 分		
比田勝港から 2.5km 車で約 40 分		

利用のご案内

開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）
入館料：無料
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝祭日の場合は翌日が休館）年末年始
注意事項：館内での飲食・喫煙・ペット等の持ち込みはできません。

TEL. 0920-84-5577

FAX. 0920-84-5578

〒817-1603 対馬市上県町佐護樟崎公園

【HP】<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>



対馬野生生物保護センター Tsushima Wildlife Conservation Center



対馬野生生物保護センターは、対馬の希少野生生物保護の拠点施設で、環境省・長崎県・対馬市が共同で運営しています。ツシマヤマネコをはじめとする野生生物の生態やその現状についての解説、野生生物保護への理解を深めて頂くための普及啓発活動や希少野生生物の保護事業などを実施しています。

環境省・長崎県・対馬市

A. 生物多様性とは



対馬には固有種をはじめ、大陸系、日本本土系など様々なルーツをもった生き物たちがつくる独特の生態系が存在します。ここではそのつながりから地球の生物多様性や対馬の生物多様性について考えてみましょう。

B. ツシマヤマネコについて

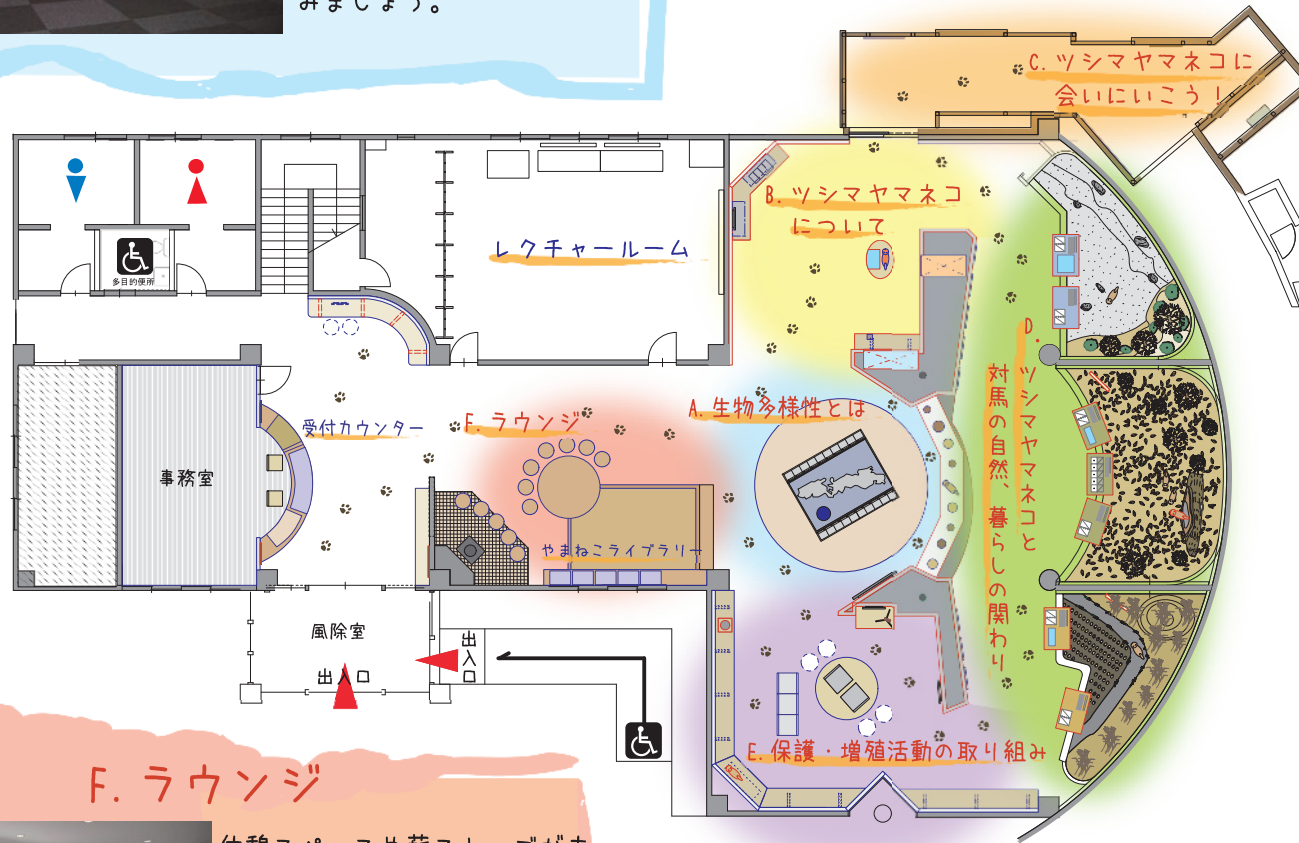


ツシマヤマネコの基礎情報やツシマヤマネコのルーツを探る映像のほか、骨格組立てパズルなど楽しみながら学べるツールがたくさんあります。

C. ツシマヤマネコに会いにいこう！



ここではツシマヤマネコの「福馬」に会えます！好奇心旺盛な福馬を見てツシマヤマネコの特徴を確認してみよう！ただし、観察するときはマナーを守ってヤマネコにやさしい観察を！



D. ツシマヤマネコと対馬の自然、暮らしの関わり

ツシマヤマネコがすんでいる環境を再現したジオラマコーナー。鳥の鳴き声を聞いたり、昆虫や魚類などの標本や模型、対馬の自然と人との関わりについての解説を見ることができます。



F. ラウンジ



休憩スペースや薪ストーブがあり、ゆったりくつろげます。やまねこライブラリーには、ツシマヤマネコや対馬に関する本があります。ツシマヤマネコの餌となる生き物の展示もあり、大人気コーナーです！

E. 保護・増殖活動の取り組み

ここではセンターで行っているツシマヤマネコ保護対策の最新情報を随時更新しています。そのほかにもヤマネコの気持ちになって調査を体験できる自動撮影体験やツシマヤマネコクイズなど体験コーナーも充実！また、めったに見ることのできない動物園でのヤマネコの繁殖行動もみることができます。

